

外国語発音習得研究会

第6回研究集会



<https://hatsuon.org/>

日時：2016年12月23日(金・祝)

場所：広島修道大学 (広島県広島市安佐南区大塚東1-1-1)

参加費：無料(参加申し込み不要)

プログラム

12:00 受付開始

12:30 ポスター展示

13:00~14:30 パネルセッション

「日本語アクセント観のパラダイムシフト —高低から下り目へ—」

<基調講演>

塩田 雄大(NHK放送文化研究所)

アクセントの記号をなぜ変えたのか? —NHKアクセント新辞典における記号改訂の意味—

<コメント>

峯松 信明 (東京大学)

韻律の記号化と記号化された韻律の音声化 —音声合成の立場から—

磯村 一弘 (国際交流基金)

高低観の功罪と下がり目観への期待 —日本語教育の立場から—

14:30~15:30 ポスター発表(詳細は別紙)

15:30~17:30 研究会招待発表

上山 素子 (ボローニャ大学)

演劇と日本語音声教育 —イタリアでの実践から—

定延 利之 (神戸大学)

発話構造が生み出すアクセント

畑佐 由紀子(広島大学)・高橋 恵利子(目白大学)・山元 啓史(東工大)・Bor Hodošček(大阪大学)

—対比較法とクラウドソーシングによる一般の母語話者の音声評価システムの開発

金 愛蘭(広島大学)・李 在鉉(広島大学大学院生)・山崎 優華子(タマサート大学)

「日本語学習者音声コーパス」の構築

17:30 終了

18:30 懇親会

後援 日本音声学会

主催・共催プロジェクト

基盤B「海外における日本語韻律指導の実践と普及」(代表者:磯村一弘<国際交流基金/政策研究大学院大学>)

基盤B「アーティキュレーションを保証する言語能力アセスメント実施支援システムの構築」(代表者:渡部倫子<広島大学>)

基盤A「つかえタイプの非流ちょう性に関する通言語的調査研究」(代表者:定延利之<神戸大学>)

挑戦的萌芽「Global Soundsを活用した日本語音風景アーカイブの構築と教育応用」(代表者:松田真希子<金沢大学>)

外国語発音習得研究会 第6回研究集会

<ポスター発表詳細>

12:30～ ポスター展示

14:30～15:30 ポスター発表

王睿来(神戸大学大学院)、林良子(神戸大学)、磯村一弘(国際交流基金)、新井潤(カレル大学)
中国語母語話者による日本語名詞アクセントの産出
—アクセント情報の有無と提示順序に関する検討—

大山理恵(同志社大学)
日本語音声指導に関する一考察— 実験群と統制群の比較実験より

金村久美(名古屋経済大学)
ベトナム人日本語学習者の会話における音声的特徴

桑野リデーン充代(ストックホルム大学)
スウェーデン語話者の日本語ミニマルペア練習で見られる聞き取り上の難点
ストックホルム大学での例

柴田智子(プリンストン大学)
「サウンドスケープ」とスマホアプリ Global Sounds: その日本語教育への応用

中川千恵子(早稲田大学)
演劇活動における音声教育の可能性

仁科陽江(広島大学)
日本語教員養成課程における音声教育 —対照音声学的観点より

波多野博顕(ATR)、石井カルロス(ATR)、松田真希子(金沢大学)
音響特徴に基づいた文節アクセント型判定のエラー分析

松浦博(静岡県立大学)、澤崎宏一(静岡県立大学)、秀島雅之(東京医科歯科大学)
留学生と日本人学生発話データにおける日本語特殊拍へのアクセント付与について

丸島歩(国際医療福祉大学)
フィリピン人日本語学習者の母音の聞き取りについて

吉田夏也(国立国語研究所)
日本語学習者における語頭上げ音調について

劉志偉(首都大学東京)
学習経験者の視点から見た立体的な語彙学習について
—学習メモにおけるアクセントの箇所に焦点をあてて—